

国際物流戦略チーム 第14回本部会合



関西国際物流戦略チーム関係者とモデル認定事業者

モデル事業にユニエツクス KIX Pharmaなど

関西物流戦略チーム、WGを設置

関西国際物流戦略チーム(本部長 松本正義関西経済連合会会長)は26日、大阪市内で第14回本部会合を開催し、今年度の「関西総合物流活性化モデル」の事業に、ユニエツクス、KIX Pharma コミュニティ、ドコマップジャパンの3事業を認定した。また今後の取り組みを検討するワーキンググループ(WG)を設置することになった。

関西総合物流活性化モデル事業は、関西の物流を促進する効果があり、独自性や先進性のあるビジネスモデルを認定し、普及、促進を支援するもの。今年度認定した事業者と

モデル名は次のとおり。

▽ユニエツクスⅡ「日本食輸出に貢献する神戸発リーフアー食品輸送サービス」

▽KIX Pharma コミュニティⅡ「医薬品輸送認証システムⅡ IATA CEIV Pharma取得および高品質輸送サービスの構築」

▽ドコマップジャパンⅡ「関西国際空港を拠点とした保税運送貨物の空港間輸送サービス」

また今後の活動として、「『今後の取組』検討ワーキンググループ」も設置することになった。WGでは短期(2～3年)の取り組みに加えて、中長期(概ね10年程度)を検討することが提案され、来年度は検討項目の選定、課題解決策の議論、施策・方向性のとりまとめなど行う。